

年 金 あ れ こ れ ～国民年金保険料『納付猶予制度』について～

納付猶予の対象年齢が引き上げられました

納付猶予制度は、これまで30歳未満の若年者が対象でしたが、平成28年7月から、50歳未満まで対象者が拡大されました。

これまで、30歳以上50歳未満の方（学生は除く）は、国民年金保険料の納付が困難な場合、免除制度しかなく、世帯の所得状況により該当しない場合がありましたが、平成28年7からは、**本人と配偶者の前年所得が一定額以下の場合には、申請書を提出し、申請後に承認されると保険料の納付が猶予されます。**



納付猶予が承認された期間は、納付をしたときと比べて将来受け取る年金額は少なくなりますが、未納期間とは違い、年金の受給期間に含まれ、10年以内であれば、さかのぼって保険料を納めること（追納）ができます。

（ただし、3年目以降は当時の保険料額に一定の金額が加算されます）

※詳しくは旭川年金事務所、または役場住民課 お客さま窓口係にお問い合わせください。

■お問い合わせ：役場住民課お客さま窓口係 TEL 32-2500

こ れ か ら の 家 庭 教 育 ～ピグマリオン効果～

保護者のみなさんは我が子にどんな期待を持っていますか。スポーツを頑張ってオリンピックに。勉強を頑張って研究者としてノーベル賞。小さいころからお金の勉強をさせて億万長者に。夢はたくさんありますが、本日はその「期待」についての話です。

ギリシャ神話に登場する生身の女性を愛せない彫刻家ピグマリオンが、とても美しい理想の女性の彫像を作りました。ピグマリオンは来る日も来る日も、「この像が実在の人間だったなら…神様どうか、この像にそっくりな女性と出会わせてください」と願っていました。すると哀れに思った愛の女神アフロディーテが願いを叶え、彫像に命を与えて人間にした。という話から「**期待をかけると実現する**」ことをピグマリオン効果と言います。

しかし期待するだけで実現するとは本当のことなのか、実際に学校で実験をした人がいます。あるクラスで「今後、数ヶ月の間に成績が伸びてくる児童を割り出すための検査」と嘘の説明をして単なる知能テストをおこないました。そのテストの結果とは無関係に、ランダムに数名の児童を選び、「この子たちが、今後数ヶ月の間に成績が伸びる児童だ」と担任に伝えました。その言葉を受けて担任の先生は選ばれた生徒に大きな期待をかけ、児童も期待されていることを意識したのでしょうか。その後、選ばれた児童の成績が確かに向上していったという結果になりました。



子どもは、たとえ親とそっくりだったとしても、親と同じではありません。自分よりずっと小さく見えても、親ができないことを易々とこなしてしまうこともあるのです。子どものやりたいことに夢を持って期待をすることが、実は一番の応援なのかもしれません。蛇足になりますが、この効果の対義語はゴーレム効果と言います。子どもに「お前には無理だ」「どうせできるわけない」などと負の期待をすると、本当に何もできない子どもを育てることになるかもしれません。